

## 化人（バケト）

バケトは古くからいるサーカスのピエロに似ています。メイクや、時として怖い扮装をするところもそっくりです。バケトには滑稽な出で立ちで観衆を楽しませる役目があります。ひとつの山車が通過し、次の山車が来るまでの合間に、おどけた動作で観衆の笑いを誘う姿を見ることができます。バケトは明治時代（1868～1912）にはすでに登場していたことが知られており、戦前の一時期にはハネトを数で上回ったこともあります。当時のバケトにはサーカスの怪力男やきわどい女装をした男性など、さまざまな格好をした人が参加していました。

今日では道化師になろうという人は減り、ハネトや囃子方としてねぶたに参加する人が多くなっています。しかしバケトは今日でも依然として存在しており、伝統を受け継ぐために結成されたバケト保存会という組織すらあります。